

女學生の勤勞奉公隊所見

東京都日比谷公園兒童掛 末 田 ま す

大東亞戰爭完遂の時局下、銃後生産戰の一助として女學生の勉學の餘暇を利用して軍需工場に或は又農山漁村の繁忙期に率先して奉仕勞務に参加してゐる現状は寔に結構であり女學生に於ても奉仕勞務にたずさわつてゐる中に教室では學び得られない貴重なる收獲があるものも信する次第である。

女學生の勤勞奉仕を通觀するに各種の職場があるが、女學生としての將來の職能を熟慮して、適當なる部門に奉仕せしめる事が肝要であると思ふ。

此の意味に於て農山漁村に於ける幼兒の保育、共同炊事等は女學生の奉仕部門として寔に適材適所である。つい最近新聞紙上で見た事ではあるがその職場が、その方法が不適當なるが故に幾多の事故があり、惡結果を齎らしてゐるのである。これは要するに奉仕者とその勞務が適材適所でないからである。

時局下人手の不足から農繁期は食料の増産に猫の手も借りたい云ふ程の多忙振りである。私が嘗つて農村へ出向

いて目撃した事があるが母親達は乳幼兒を田疇の畔へ監督者なしで遊ばして置く爲不測な事故を惹起したり或は又取りかへしのつかぬ事をする事がある。これでは親達は子供達の心配で結局仕事の能率も上がらない事になる。

私は現在の農村に於ける乳幼兒の托兒所を常設的にもつて擴充し、有爲なる指導者を送つて、農村の親達に積極的に利用せしめる様にしたいと思はるものである。農村の廣場或は神社の境門を利用して設備した托兒所が完備すれば働く親達も安心して仕事に熱中する事が出来ると思ふ。

東京都では毎年夏期市内の各公園で都下女學校生徒の奉仕により綠蔭鍊成會を催し集る子供達の暑中生活の善導に努力してゐるのであるが、毎年好成绩を収めて終了して居り、本催が終了するに女學生の尊い經驗を東京中央放送局から全國に放送する爲、各都市より公園を利用しての兒童の厚生運動につき種々問合せがある状態である。

これは將來母となるべき女學生にして實に適切なる部面であり、子供達にしても仕合せな事であると思じてゐる。

勿論奉仕者には前以つて講習を行ひ、奉仕に要する理論、技術、勞務について豫備知識を持たせなければならぬ。この講習の如何によりて、奉仕が愉快にそして立派に完了するのである。

長い間の経験で女學生には學齡兒童よりも乳幼兒の取扱ひの方が容易に思はれる。それは云ふまでもなく熟意を體格さへよければ、子供達は指導者の言ひ附けをよく守り、おだてがきく事であり、比較的手輕に世話する事が出来るのである。

子供は國家の寶である云はれる。この寶を立派に磨き上げて國家の爲に献身出来る人物を養成する所以を知り、奉仕に努力する女學生の責任たるや寔に重大であり、やり甲斐のある仕事であるを信じてゐる。終りに參考までに東京都の公園に於て奉仕せる女學生に與へた遊戯の種類を紹介して筆を擱く次第である。

幼兒向き 全體の子供達でたのしめる遊戯に分けて見る。

幼兒にも感覺訓練が特に必要と見做される。

1、名あて遊び 鬼が圓の中央で目をつぶる、その間に圓の人は右むき(或は左むき)になり歩く、鬼が「止まれ」といつて目かくしのまゝ誰かを指して「猫の啼き聲」と云ふ。指された人は鬼の命令通りにする。その間に鬼は誰の聲が當てる。若し當たれば次の鬼はこの當てられた人である。鬼は何の啼き聲

なさせてもよい。これに似た遊戯で「坊さんくゞこへゆく」といふ遊戯がある。

2、拇指かくし 圓形を作り皆中心に向く。鬼は圓の中央で目をつぶる。その間に誰か指された人は右拇指を折りかくす。鬼が目を開いて探す間に圓形の人は皆拍手をする。鬼はその音で誰が拇指をかくしてゐるかを當てる。

3、馬の尻尾(雨降りの日に用ゐる) 数枚の新聞紙に各々尾の無い馬を置いておく。別に幼兒數だけ尻尾を用意し各人に與へて置く。二米位離れた處に、この新聞紙を置いて置く。その新聞紙の數だけの幼兒を一行に並べ目をかくしておく。合圖でその馬の尻尾に當る處に、その紙切れを貼りに行かせる。これをみんなの幼兒にさせ、誰が上手に尻尾がつけられたか見させるとおもしろい。

全體の子供で出来る遊戯を戸外向きと、雨ふりの場合を考へて室内向きとに分ける。

一、戸外の遊戯

1、橋落し 全體の人で圓を作り一部に二人が手を繋ぎ橋を作る。圓の人は右(或は左)をむいて歌を歌ひつゝこの橋をくぐり通る合圖と共にこの橋を落し橋の中に落された人は中央に出て落された人同志二人づゝになり圓の何處かに橋を作る。

必ず圓の人は橋の下をくぐる。前の人につかまつて歩かぬこと。だん／＼橋を増して少數が残る迄續けること。

2、いらつしやい 圓を作り各自小さな圓を書いて席を定める。各自席に入ると鬼を一人決める。鬼の人は圓の内側を走

り乍ら圓の人を「いらつしやい」と言ひながら肩を叩いて行き叩かれた人は鬼の後に續いて走つてゆく。鬼は十人位、自分の後に續いて來たら適當な時機を見て「さよなら」と言ふ。「さよなら」といはれたら空席を見つけて入ること。最後に席のない人が鬼となる。

3、鶴龜 二〇米位距離を置いて二本の線を引く一方を鶴の線他方を龜の線とする。子供全體を一方の線の上に並ばせる先生は中央に立ち鶴、龜、と呼ぶ。鶴と呼ばれた場合に子供達は鶴の線に行く。龜と呼ばれた時は龜の線に、但し龜の線にゐる時、龜と呼ばれたら線より出てはいけない。線より出た人は遊びよりぬげ、五六人位残るまで續ける。注意 間違つた子供等は別の線上に置いて先生と共に「ツル、カメ」を呼ぶことを相談する。

二、室内の遊戲

1、番犬遊び 圓を作り蹲む。一人番犬になり圓の中央の小さい圓に入り目をつむつて蹲む。番犬の傍に寶物(下駄等を用ひるとよい)を置く。圓の一人が番犬に氣付かれぬ様に寶物を取つてかへる。番犬は誰か取つて行きさうに思つたら大きな聲で「ワン！」とほえる。若し番犬に吠られずに寶物を持つてかへられたら、それを自分の後にかくす。番犬は目を開けて探し出すこと。

2、親探し 圓形を作り中央をむく。鬼一人圓の中で目隠す。圓の人から親を一人きめる。親は色々の動作をする。圓の人は親の動作をその通り真似る。鬼は圓の中央に立ち親が何處

にゐるか親を探し當る。探しあてられたら親になつてゐた人が次の鬼となる。

3、野菜籠 鬼を一人決め其他は圓陣になり隣の人とびつたりついて坐る。先生は數種の野菜の名前を皆に割當てつけておく。一人中央に立ち二つの野菜の名を續けて呼ぶ。呼ばれた野菜に當る人は素早く立つて席を交替する。鬼はその間、席の空いた所に入らうとするから早く交代せねばならぬ。鬼に席を取られたものが次の鬼となる。

その他に寶まわし、ジャンケン遊び、郷土的遊戲を使はれるとよい。

(三九頁より續く)

(六)運動をするときは運動服に更衣するのを原則としてゐるが、幼児の場合仲々實施困難だと思ふので、少くとも、輕装にさせることはつこめ度い。元來日本の母親は子供に厚着をさせすぎてゐる。親心云々へばそうに違ひないが、鍊成期にある子供にはなるべく薄着にして皮膚の鍛鍊を行ひ度いと思ふ。

以上私は幼児の身體的鍊成の必要意義を述べ更に、鍊成方法、實施上の注意事項を誠に簡單ながら述べた積りである。まだ言葉のつくさぬ點も多々あつて、氣にもかゝるが、之を通して、世の母親や幼児の指導の任にある諸姉が、幼児の心身鍊成について、少しでも、關心をもち、そのために努力していただけるならば幸甚に思ふ。